



一昭和医科大学歯科病院の理念一

患者本位の医療  
先進的医療の推進  
医療人の育成発行責任者 病院長 榎 宏太郎  
編集責任者 広報委員長 松田 幸子  
〒145-8515 東京都大田区北千束2-1-1TEL 03-3787-1151(代表)  
いちいちごいちホームページ: <https://www.showa-u.ac.jp/SUHD/index.html>

## お口のメンテナンス

インプラント歯科 診療科長・教授 宗像 源博

お口の健康は、痛くなってから治すものではなく、悪くならないように守っていくものです。歯のメンテナンスは、たとえば「車の点検」によく似ています。車は、調子よく走っていても定期的に点検やオイル交換をしないと、ある日突然大きな故障を起こしてしまいます。お口も同じで、見た目には問題がなくても、むし歯や歯周病は気づかないうちに進んでいることがあります。

また、お口のメンテナンスは「お庭の手入れ」にも似ています。小さな雑草のうちに抜けばすぐ終わりますが、放っておくと根が張り、広がり、きれいな庭を取り戻すのに時間も手間もかかります。歯石や歯ぐきの炎症も同じで、早めに見つけて整えておくことで、大きな治療を防ぐことができます。

毎日きちんと歯みがきをしていても、歯ブラシだけでは落とすきれない汚れがあります。特に歯と歯の間や、歯ぐきの境目には汚れがたまりやすく、そこからむし歯や歯周病が始まります。定期的に歯科医院で

チェックを受け、専門的なクリーニングをすることで、自分では落とせない汚れを取り除き、病気の芽を早い段階で見つけることができます。



歯科医院は「痛くなったら行く場所」ではなく、「健康を保つために通う場所」です。定期的なメンテナンスは、将来の大きな治療を減らし、時間や費用の負担を軽くし、何よりご自身の歯を長く守ることにつながります。

いつまでもおいしく食べて、笑って話せる毎日のために、お口のメンテナンスをぜひ習慣にいきましょう。



- P1 お口のメンテナンス
- P2 診療科紹介：インプラント歯科
- P3 診療科紹介：歯科ドック
- P4 部署紹介：臨床検査室、編集後記

記事見出しの色分けをいたしました。

患者さん向け、医療機関向け、お知らせなど

## 診療科紹介：インプラント歯科

インプラント歯科 准教授 佐藤 大輔

インプラント治療は歯を失った部分の骨にインプラントを埋め込み、その上に歯を装着してお口の機能を回復させる治療です。

昭和医科大学歯科病院には、インプラント治療を行うため多くの患者が来院されています。コロナ禍以降は5年連続で毎年度1,000本以上のインプラント埋入手術を行っております。2025年度は、インプラント埋入手術件数994例、総埋入本数1,484本の治療実績がありました。

インプラント歯科は診療科長の宗像源博教授以下15名のスタッフで、治療にあたらせていただいております。月～土曜日まで毎日、予約制でインプラントに関するご相談をお受けしております（**インプラント歯科予約直通受付 03-5498-1903**）。一人一人の患者さんに他の方法よりも本当にインプラントの方が良いのかを丁寧に説明いたします。

当科で行うことができる特徴的なインプラント治療について簡単にご紹介します。

### 1. インプラントが怖い方へ：静脈内鎮静（セデーション）を併用した手術

インプラント埋入手術の際には、点滴からお薬を入れて、恐怖感の少ないリラックスした状態で手術を受けることができます。

### 2. オールオンフォーや即時荷重

インプラントを立体的にバランス良く埋めることにより、骨の移植を行うことなく、手術したその日から固定式の仮の歯を装着できる治療術式です（写真）。

### 3. サイナスリフト（上顎洞底挙上術）・骨移植

顎の骨の量が足りず、そのままではインプラントを入れることができない場合にも、骨を増やしてインプラントを入れることが可能にすることができます。

### 4. 他院でインプラントをしたが通えなくなってしまう場合のメンテナンス

インプラント治療後、重要なことは、治療後のメンテナンスを継続することです。通常は治療を行った医院でメンテナンスを行いますが、さまざまな事情により通院ができない場合は、当科にて継続したメンテナンスを行っていくことが可能です。

### 5. 健康保険でのインプラント治療

インプラント治療は原則健康保険が適用されませんが、腫瘍や外傷で広範囲に顎の骨を失った方、先天的な理由で永久歯が無い方は、健康保険が適用される場合があります。まずは、当科を受診の上ご相談ください。



治療例 手術前



治療例 手術後

## 診療科紹介：歯科ドック

歯科ドック 診療科長・教授 小林 幹宏

「歯科ドック」という言葉を初めて耳にする方も多いのではないのでしょうか。歯科ドックは、いわば「お口の人間ドック」です。現在のお口の状態を詳しく調べ、病気の早期発見と将来のリスクの把握、予防につなげることを目的としています。

昭和医科大学歯科病院の歯科ドックでは、各専門分野の歯科医師が、むし歯や歯周病の診査に加え、唾液量・pH・細菌の種類と数、歯ぐきや粘膜からの出血を調べる潜血反応、口臭、舌や口腔粘膜の状態、噛み合わせなどの検査を行っています。エックス線写真や口腔内写真なども用い、最新の機器によってお口の状態を科学的かつ総合的に評価することが特徴です。

基本的な健診に加え、ご希望に応じて、歯ぎしり・食いしばり、歯並び、いびき、飲み込み、インプラントの適応などに関する専門的な相談や、歯の色の検査、詳しい細菌検査もオプションとしてご用意しています。

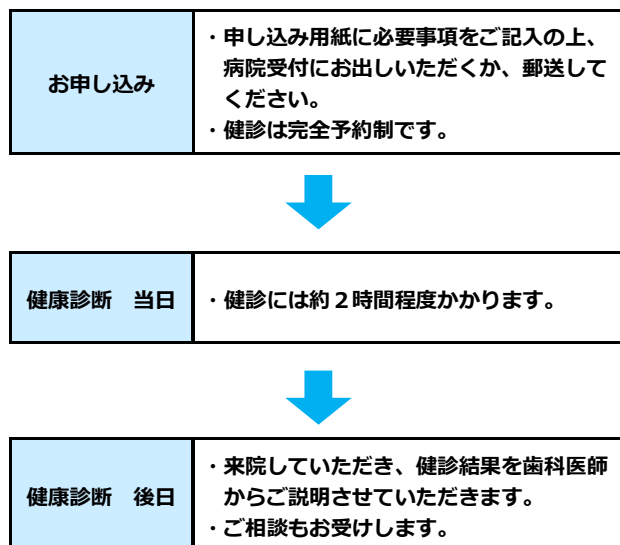
検査結果は、約2週間後に歯科医師が結果報告書を用いてわかりやすくご説明し、必要に応じて適切な診療科をご案内します。また、歯の汚れの状態や毎日のお手入れ方法、

清掃用具の選び方については、歯科衛生士からアドバイスを受けられます。

お口の病気は、自覚症状がないまま進行することがあります。歯科ドックを、お口の健康を見直す機会としてご活用ください。

歯科ドックは自由診療（保険適用外）で、月・火曜日の午前中に完全予約制で実施しています。詳しい資料やお申し込みは、歯科ドック受付（4階・保存修復科併設）または総合受付（1階）まで、お気軽にお問い合わせください。

### 歯科ドック流れ



歯科ドックの検査風景



歯科ドックを担当するスタッフ

## 部署紹介：臨床検査室

臨床検査室 手塚 美紀

当臨床検査室は、国家資格を持つ臨床検査技師2名で業務を担当しています。

業務は多岐にわたり、採血、血液・尿検査、循環器領域検査（心電図・24時間心電図・血圧脈波）、呼吸器領域検査（肺活量・努力性肺活量）などを行っています。また、血液・体液暴露時の迅速キット検査など、感染対策チームの活動にも従事しています。

当院には、地域の歯科医院からの紹介により、基礎疾患があり一般の歯科医院では治療が困難な患者さんも多く受診されます。安全な治療のため、病状や健康状態を把握し、麻酔や手術に伴うリスクを軽減することが重要です。臨床検査室は、検査を通じて患者さんが安心して治療を受けられるよう、診療を支えています。

採取した血液や尿は、診察や治療に役立てられるよう、必要に応じて至急で検査・結果報告を行うほか、専門施設へ検査を委託していま

す。また、精度の高い臨床検査を維持するため、毎日の精度管理に加え、日本臨床衛生検査技師会が実施する外部精度管理調査にも参加しています。正確な検査結果を提供することは、安全な診療を支える重要な役割の一つです。

当検査室で最も多くの患者さんが受けられるのは採血です。採血が初めての方や、過去にめまい・気分不快を経験された方は、お気軽にお申し出ください。ベッドで横になった状態や、動画を見ながら採血することも可能です。主治医から絶食などの指示がない場合は、適度な食事や水分をとっておくことで、めまいや失神を起こしにくくなります。お子さんにも安心していただけるよう、動物の掲示物なども設置しています。

検査についてわからないことがありましたら、お気軽にお声がけください。



採血



至急血液検査

## 編集後記

集中豪雨や台風のニュースが増える時期となりました。非常用持ち出し袋の点検とともに、持病のお薬手帳や予備薬の確認も重要な防災対策です。

日頃の備えを見直し、万全の態勢で安心できる毎日を過ごしましょう。

(K.Y)

